

2023年8月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	34,003,473	6,721,606	505.9%	47,516,313	71.6%
国内旅行	6,295,680	6,035,319	104.3%	7,709,852	81.7%
訪日旅行	740,965	28,097	2,637.1%	2,466,227	30.0%
合 計	41,040,119	12,785,023	321.0%	57,692,394	71.1%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較するため、2019年同月比を記載しております。

■ 海外旅行

年間最大の出国者数を誇る8月出発において、ハワイ・ホノルルが2019年同月比で76%まで回復をみせるなど、お子さま連れのファミリー層を中心に取扱高を牽引しました。また、夏の外国船による3年ぶりのクルーズとなった「MSC ベリッシマ」チャータークルーズでは、8月2日出発と11日出発の2設定で催行しました。台風により国内の寄港地の変更が一部生じたものの、全ての旅程を無事に催行し、最終目的地であった韓国・釜山は2019年同月比を大幅に上回る146%となりました。

以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比505.9%、2019年同月比71.6%の340億347万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	68.3%
オセアニア・南太平洋	75.8%
ハワイ・ミクロネシア	63.3%
欧州・中近東・アフリカ	76.7%
北米・中南米	79.5%

商品別	2019年同月比
手配旅行	80.6%
企画旅行	54.6%

チャネル別	2019年同月比
店舗	55.3%
オンライン	86.6%

■ 国内旅行

台風6号の影響長期化により、人気渡航先である沖縄をはじめ、飛行機を使ったパッケージツアーが欠航による催行中止などもあり、国内旅行への影響を受ける結果となりました。しかしながら、関東発を中心とした日帰りバスツアーや国内航空券とホテルを組み合わせた「ダイナミックパッケージ」が前年・2019年同月比を上回ったことで、全体で前年同月比を上回っております。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比104.3%、2019年同月比81.7%の62億9,568万円となりました。

■ 訪日旅行

訪日バスツアーの展開として、北海道の室蘭・札幌における自社バス&ウォーキングツアーを催行するなど、ラインナップの拡充を図りました。また、8月30日から3日間タイで開催された「バンコク日本博2023」では、訪日連携をしている鳥取県や山形市・盛岡市と連携したブースにおいて、各エリアのプロモーション活動と、現地旅行会社と連携した紅葉から冬の訪日商材の販売会を行うなど、海外現地からの訪日需要喚起と送客強化に努めました。ジャパンホリデートラベルによる中国マーケットの再開に関して、大きな動きはみられませんでした。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比2,637.1%、2019年同月比30.0%の7億4,096万円となりました。

2023年8月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比321.0%、2019年同月比71.1%の410億4,011万円となりました。

2023年8月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区 分	取 扱 高	前年同月取扱高	前年同月比	2019 年度同月取扱高	2019 年度同月比
インバウンド	14,649,737	6,536,661	224.1%	19,336,152	75.8%
アウトバウンド	12,970,220	10,562,705	123.4%	5,470,280	237.1%
合 計	27,619,957	17,099,366	162.0%	24,806,432	111.3%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、Merit Travel、Jonview Canada、Red Label Vacations) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2023 年のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年度同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。
 ※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。
 ※海外における旅行事業は 7 月期決算のため、2019 年度は 2018 年 8 月の業績を比較対象としております。

■ 海外インバウンド

HIS 海外現地法人では、日本人による夏の海外旅行需要の増加を通じて回復が顕著に表れており、中でもハワイにおいては、個人旅行や大型団体旅行の受客が奏功し、2019 年度同月比 90.1%と顕著な回復がみられました。欧州においても、「Group MIKI Holdings (※1)」で、日本人マーケットの回復と好調なグローバル受客と合わせ、2019 年度同月比約 70%となりました。また「Jonview Canada (※2)」では、イロローナ近隣の山火事の影響により企画旅行の催行中止が発生したものの、ホテル・アクティビティなどの手配が堅調に推移し、2019 年度同月比 120.7%と海外インバウンド事業の取扱高を牽引しました。なお、8 月より「Jonview Canada」は、HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」のインバウンドブランドとして展開しております。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年同月比 224.1%、2019 年度同月比 75.8%の 146 億 4,973 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

HIS 海外現地法人では、トルコ法人が引き続き現地企業の業務渡航に加え、ローカルマーケットのレジャー旅行も好調に推移したことから、2019 年度同月比 362.2%と大幅な伸びをみせました。「Red Label Vacations (※3)」では、B2B 営業のクルーズ部門や FIT 部門が予算を上回ったことに加えて、B2C の航空券販売においてもアジア方面の回復が見られ送客が好調に推移し、2022 年度同月比 126%と取扱高を牽引しました。なお、8 月より「Red Label Vacations」は、HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」のアウトバウンドブランドとして展開しております。

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 123.4%、2019 年度同月比 237.1%の 129 億 7,022 万円となりました。

2023 年 8 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 162.0%、2019 年度同月比 111.3%の 276 億 1,995 万円となりました。

※1) 「Group MIKI Holdings」(連結対象：2017 年 5 月～)

欧州並びに日本を含むアジア各国の 30 都市以上で事業展開するグローバルツアーオペレーター。サプライヤーとの強い信頼関係に基づく確かな仕入と、きめ細やかな手配力・現地を知り尽くした企画力で、世界中の旅行会社の安心・安全・高品質な旅行を実現。

※2) 「Jonview Canada」(連結対象：2017 年 12 月～)

カナダを代表するツアーオペレーターとして、欧州からの受客を中心にインバウンド事業を展開。世界中の旅行業向けの商品やサービスを多数提供し、30 年以上にわたり事業展開する中で、カナダ国内の 2,000 以上を超えるサプライヤーと提携。8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

※3) 「Red Label Vacations」(連結対象：2019 年 3 月～)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通じて、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel」として合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R 室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177